

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 国道182号外 道路災害防除事業に伴う業務委託（法面対策・油木
工区外）

事 業 ・ 工 事 名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名	B-1(前原谷仙養線)		調査位置	広島県神石郡神石高原町笹尾（前原谷仙養線G001箇所）		北 緯	34° 49' 02.6912"				
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	平成31年 1月17日～平成31年 1月18日		東 経	133° 17' 45.4209"			
調査業者名	主任技師			現 場 代 理 人	コ ン 定 者		ボーリ ン グ 責 任 者				
孔 口 標 高	TP 242.29m	角	180° 上 下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地 盤 勾 配	0° 水平 0° 鉛 直 90°	使用 機 種	試 錐 機	東邦D-0型	
総 削 孔 長	9.00m	度	0°	向				エ ン ジ ン	ヤンマー(株)製 NF9型	ポ ン プ	BG-3型

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 度 (m)	現 場 土 質 名 (模 様)	現 場 土 質 名	地 盤 材 料 の 工 学 的 分 類	色 相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 / 測 定 日 月	標 準 貫 入 試 験						試 料 採 取		室 内 試 験	削 孔 日 月			
										深 度 - N 値 図						深 度 (m)	試 料 番 号			採 取 方 法		
	241.89 241.64	0.40 0.65	人工材料 人工材料			黒 青灰		アスファルト 路盤砕石 道路盛土および擁壁裏込め土 φ5~150mmの礫・玉石主体で礫・玉石 間は砂質土により充填される。		0	10	20	30	40	50	60						
1			礫質土	礫質土	褐~黄褐	rd2		全体に間隙があり、緩い状態 礫・玉石は安山岩質の角礫主体 無水攪りで掘進、一部φ86mm(ケー シング口径)でサンプル採取		8	1.15	2	3	3	8	300						
2			礫質土	礫質土	淡褐	rd3		φ10mm以上の安山岩質角礫主体 間隙は砂質土により充填されるが、緩 い状態(無水攪り)		4	2.45	1	1	2	4	300						
3			礫質土	礫質土	淡褐	rd3		塊状・硬質で柱状コア主体。 割れ目は褐色に変色し、砂質土の薄層 を挟む。割れ目間隔は概ね5~30cm程度 6.65~7.15m 割れ目が密に発達し、7m 付近は軟質化している		8	3.15	2	3	3	8	300						
4	238.28	4.00	礫質土	礫質土	淡褐	rd3		塊状・硬質で柱状コア主体。 割れ目は褐色に変色し、砂質土の薄層 を挟む。割れ目間隔は概ね5~30cm程度 6.65~7.15m 割れ目が密に発達し、7m 付近は軟質化している		12	3.45	4	3	5	12	300						
5	236.49	5.80	安山岩	安山岩	青灰			塊状・硬質で柱状コア主体。 割れ目は褐色に変色し、砂質土の薄層 を挟む。割れ目間隔は概ね5~30cm程度 6.65~7.15m 割れ目が密に発達し、7m 付近は軟質化している	1/18 7.35	14	4.45	6	5	3	14	300						
6	233.28	9.00	安山岩	安山岩	青灰			塊状・硬質で柱状コア主体。 割れ目は褐色に変色し、砂質土の薄層 を挟む。割れ目間隔は概ね5~30cm程度 6.65~7.15m 割れ目が密に発達し、7m 付近は軟質化している	1/18 7.35	50	5.45	6.00	貫入不能	50	0							
7			安山岩	安山岩	青灰			塊状・硬質で柱状コア主体。 割れ目は褐色に変色し、砂質土の薄層 を挟む。割れ目間隔は概ね5~30cm程度 6.65~7.15m 割れ目が密に発達し、7m 付近は軟質化している	1/18 7.35	50	7.05	50	50	100								
8			安山岩	安山岩	青灰			塊状・硬質で柱状コア主体。 割れ目は褐色に変色し、砂質土の薄層 を挟む。割れ目間隔は概ね5~30cm程度 6.65~7.15m 割れ目が密に発達し、7m 付近は軟質化している	1/18 7.35		7.15											

株式会社荒谷建設コンサルタント